

# [解答例]

## 日本史〔前期A方式(1/29)〕

設問		解答例
I	(a)	イ
	(b)	エ
	(c)	ウ
	(d)	イ
	(e)	エ
	(f)	ウ
	(g)	イ
	(h)	エ
	(i)	栄西
	(j)	ウ
	(k)	末法思想
	(l)	エ
II	1	① 公事(万雑公事)
		② 一遍
		③ 問(問丸)
		④ 乾元大宝
		⑤ 土倉
		⑥ 割符
		⑦ 貫高
		⑧ 撰銭
	2	(a) 三斎市
		(b) 連雀商人
		(c) 見世棚
		(d) ウ
		(e) 借上
		III
2	風説書	
3	異国船打払令(無二念打払令)	
4	水野忠邦	
5	オランダ	
6	(a) 大黒屋光太夫 <sup>(*)</sup>	
	(b) ア	
	(c) フェートン号事件	
	(d) キリスト教	
	(e) 清	
	(f) イ	
	(g) ア	
IV	1	① タ
		② イ
		③ セ
		④ サ
		⑤ ク
		⑥ キ
	2	(a) 桂園時代
		(b) 元老
		(c) 軍部大臣現役武官制
		(d) 第一次護憲運動(憲政擁護運動)
		(e) エ
		(f) 大正政変
		(g) シーメンス事件(ジーメンス事件)

## 日本史〔前期A方式(1/30)〕

設問		解答例
I	(a)	格
	(b)	神祇官
	(c)	式部省
	(d)	官省符荘
	(e)	尾張
	(f)	さかん
	(g)	蔭位の制
	(h)	令外(の)官
	(i)	檢非違使
	(j)	藤原道長
	(k)	後三条天皇
	(l)	在庁官人
II	1	① エ
		② ア
		③ ウ
		④ キ
	2	(a) ア
		(b) 大輪田泊
		(c) 北条時宗
		(d) 1281 年
		(e) イ
		(f) 異国警固番役
		(g) 竹崎季長
		(h) 懷良親王
		(i) 勘合(符)
	III	1
② コ		
③ ス		
④ ウ		
⑤ カ		
2		(a) 狂歌
		(b) 恋川春町
		(c) 葛屋重三郎
		(d) 錦絵
		(e) 鶴屋南北
(f) 御蔭参り(おかげ参り)		
(g) 良寛		
(h) 北越雪譜		
IV	1	① ス
		② ウ
		③ キ
		④ コ
		⑤ セ
	2	(a) 原敬
	(b) 幸徳秋水	
3	治安警察法	
4	夏目漱石	
5	工場法	
6	ア	
7	ウ	

## 日本史〔前期B方式(1/31)〕

設問		解答例
I	①	1
	②	1
	③	2
	④	2
	⑤	2
	⑥	3
	⑦	4
	⑧	1
II	⑨	3
	⑩	2
	⑪	1
	⑫	4
	⑬	1
	⑭	1
	⑮	2
III	⑯	3
	⑰	2
	⑱	2
	⑲	1
	⑳	1
	㉑	1
	㉒	3
	㉓	4
	㉔	1
	㉕	1
㉖	2	
㉗	3	
IV	㉘	4
	㉙	2
	㉚	1
	㉛	3
	㉜	3
	㉝	2
	㉞	2
	㉟	3
	㊱	1
	㊲	4
	㊳	4
	㊴	2

## 日本史〔前期 A 方式 1/29〕

### I

国風文化の形成を題材にした問題。問(c)六国史は日本書紀→続日本紀→日本後記→続日本後紀→日本文徳天皇実録→日本三代実録という順である。よって4番目はウの続日本後紀。(d)園城寺を復興して寺門派の祖とされている第5世天台座主はイの円珍。アの円仁は第3世天台座主で、比叡山延暦寺を総本山とする山門派の祖。(e)延喜の治を行い、菅原道真を左遷したのはエの醍醐天皇。醍醐天皇の治世はイの村上天皇の治世と合わせて延喜・天暦の治といわれた。(j)ツングース系の靺鞨族と高句麗遺民の国で、契丹に滅ぼされたのはウの渤海。渤海は新羅と対抗関係にあり、同じく新羅と対抗関係にあった日本と友好的な通交を行った。

### II

中世の流通を題材にしたテーマ史。問1④958年に発行された乾元大宝は皇朝十二銭の最後である。これ以降近世まで公権力による貨幣の発行は行われなかった。⑦戦国大名は家臣や百姓の統一的な支配を実現するため、土地の貢納高を銭(貫高)に換算して、それを基準に民衆には年貢を、家臣には軍役を負担させた。算定は各大名や地域ごとに違った基準で行われていたが、豊臣秀吉の太閤検地によって全国共通の基準ではかられた石高に置き換えられた。⑧粗悪な私鑄銭が出回ると、商人たちは取引の際に精銭の使用を求める撰銭を行った。幕府や戦国大名は円滑な流通を促すため、撰銭を禁止する撰銭令を出した。問2(d)近江坂本の馬借の蜂起が発端となって起こったのはウの正長の徳政一揆。『大乘院日記目録』の「日本開白以来、土民蜂起是れ初めなり」という記述も有名。

## 日本史〔前期 A 方式 1/30〕

### I

古代の官職を題材にした問題。問(c)文官の人事を掌ったのは式部省。他の省には軍事や武官の人事を担当する兵部省、裁判や刑罰を担当する刑部省、詔書の作成などを行う中務省などがある。(h)令に規定のない官職を令外官という。征夷大將軍、勘解由使、関白などがこれにあたる。(j)御室関白と称されるのは藤原道長である。道長は娘を天皇に嫁がせ、その子を新たな天皇とすることで天皇の外祖父となり、摂政にも就任することで権威を高めた。道長と子の頼通の時代に藤原家は全盛期をむかえた。(k)延久の荘園整理令を発令したのは後三条天皇である。延久の荘園整理令は摂関家や大寺院の荘園も含めて徹底的に行われ、公領と荘園の区別が明確になった。

### II

中世の日中関係を題材にしたテーマ史。問2(a)日本と宋の貿易では、日本からは硫黄、金、刀剣、漆器などが輸出され、宋からは陶磁器、宋銭、書籍などが輸入された。問題の正解はアの硫黄。(g)モンゴル襲来の様子を描いた『蒙古襲来絵巻』を制作させたのは肥後の御家人である竹崎季長である。絵巻にはモンゴル軍が集団戦法で戦い、「てつはう」と呼ばれる武器を使用している様子が描かれている。(i)室町幕府と明の間で行われた貿易の渡航証明書として持参が義務付けられたのは勘合。このため、この時代の日本と明の貿易を勘合貿易とも呼ぶ。

### III

幕末期の政治を題材にした問題。史料Aは異国船打払令、史料Bは天保の薪水給与令、史料Cはオランダ国王の開国勧告である。問2空欄に入るのは風説書。これはオランダ船が入港した際に提出していた海外の情報を記した書。問4天保の薪水給与令は、天保の改革の一環として出された法令で、改革を主導したのは水野忠邦。天保の改革ではほかに、株仲間解散令や人返しの法などが出されている。問6(c)異国船打払令が出される契機の一つとなったこの事件はフェートン号事件。当時オランダと交戦関係にあったイギリスの軍艦フェートン号が長崎に来航し、オランダ商館員を人質に取って薪水・食料を要求した。

### IV

桂園時代前後の政治を題材にした問題。問1①、②、問2(a)20世紀初めに交互に内閣を組織したのは陸軍の長老であるタの桂太郎と、立憲政友会総裁であるイの西園寺公望。この期間を2人の名字から1字ずつとって桂園時代という。(b)非公式な天皇の最高顧問として政治の中樞に携わったのは元老。伊藤博文、山県有朋、黒田清隆、松方正義ら一線を退いた大物政治家たちが名を連ねた。のちに西園寺も元老となった。(c)陸海軍大臣を現役の大將・中將から選ぶ制度は軍部大臣現役武官制。1900年に山県有朋内閣で確立された。(f)第3次桂内閣が退陣に追い込まれた出来事を大正政変という。民衆が政治に強い関心を持っており、政権運営のために無視できない存在であることが示された。

### III

宝暦・天明期の文化、化政文化を題材にした問題。問1④落語などが上演されたのはウの寄席。ケの中村座は幕府公認の芝居小屋で、歌舞伎が上演された。問2(a)宝暦・天明期に流行した風刺や言葉のもじりを取り入れた滑稽な短歌を狂歌という。代表的な人物に蜀山人(大田南畝)や宿屋飯盛(石川雅望)がいる。(b)『金々先生栄花夢』の作者は恋川春町。春町は代表作に『仕懸文庫』がある洒落本・黄表紙作家の山東京伝と共に寛政の改革で処罰された。(f)江戸時代にたびたび流行した伊勢神宮への集団参詣を御蔭参りという。約60年周期で御蔭年がやってくるとされ、その年には全国から数百万人が伊勢神宮へ参詣した。

### IV

足尾銅山の鉍毒問題を題材にした問題。リード文内に『東京朝日新聞』の記事が引用されているが、史料の内容を読み取れなければ答えられない設問はない。問1③足尾銅山の排水が流れ込んで鉍毒被害が起こったのはキの渡良瀬川。エの神通川流域ではイタイタイ病、シの阿賀野川流域では新潟水俣病が発生している。問4足尾銅山の労働者をモデルにした『坑夫』や、『こころ』などの小説を発表したのは夏目漱石。他に『吾輩は猫である』、『坊ちゃん』、『三四郎』など多くの代表作で知られる。問7『日本之下層社会』の発表や『職工事情』の刊行に携わったのはウの横山源之助。アの三宅雪嶺は雑誌『日本人』、イの徳富蘇峰は雑誌『国民之友』を刊行した。エの木下尚江は最初の社会主義政党である社会民主党の結成に参加した。

## 日本史〔前期B方式 1/31〕

## I

遣唐使を題材にした問題。問(d)吉備真備・玄昉を政権中枢から除こうとして大宰府で反乱を起こしたのは②藤原広嗣。③橘奈良麻呂は藤原仲麻呂の排除をたくらんだが滅ぼされた。(e)東大寺戒壇院を建立したのは②鑑真。④曇徴は高句麗の僧で、7世紀前半に来日して絵の具・紙・墨の技法を伝えたとされる。(f)③養老律令の編纂を行ったのは藤原不比等。(g)④庶民教育のために綜芸種智院を開いたのは空海。(h)橘逸勢・空海と並び三筆と称されるのは①嵯峨天皇。②藤原佐理、③藤原行成、④小野道風は三跡(蹟)と称される。

## II

室町時代後期の文化や学問を題材にした問題。問1 足利学校を「坂東と称する別の大学」と記したのは③フランシスコ＝ザビエル。②ガスパル＝ヴィレラは堺を「ベニス市の如く執政官に依りて治めらる」と報告している。問4(b)I『菟玖波集』を編集したのは二条良基なので誤り。II 古今伝授で伝えられるのは連歌ではなく和歌の秘事口伝なので誤り。III 宗祇とその弟子が詠んだ『水無瀬三吟百韻』の説明なので正しい。(c)雪舟の作品は①四季山水図巻。②大仙院花鳥図は狩野元信の作品と伝えられる。④瓢鮎図は如拙の作品。(d)桂庵玄樹は肥後の菊池氏や薩摩の島津氏に招かれて朱子学の講義を行い、薩南学派を開いてのちに朱子学の注釈書を刊行した。

## III

近世の村を題材にした問題。問1 江戸時代の村で村役人と共に村の運営に携わったのは、石高持の戸主である③本百姓。④水呑百姓は自分の田や畑を持たず、村政には参加できなかった。問3 山野河海の利用や副業に課されたのは②小物成。①本途物成は耕作地・家屋敷に課される本年貢のこと。③高掛物は村高に応じて賦課される税。④冥加金は商人などに課される営業税。問6(e)伝馬役は宿場周辺の村々から人足や馬が徴発されるものなので①が正解。②軍役は大名の石高に応じて課される負担で、徴発されるのは武士。③国役は河川の土木工事などでの労働。④伝馬役を補うために徴発される村々を助郷といい、その役を助郷役という。

## IV

江戸時代から明治初期の政治を題材にしたテーマ史。問2 幕府が京都に置いた天皇・朝廷や西国大名を監視する機関は京都所司代。①武家伝奏は朝廷と幕府をつなぐ窓口になり、朝廷に幕府の指示を伝えた。問7(a)殉死の禁止は徳川家綱が1663年に命じたものなので②が正解(武家諸法度への条項の追加は綱吉の時代)。(b)七分積金は松平定信が寛政の改革で行った貧民政策なので③が正解。①小石川養生所の設置は享保の改革で行われた。②株仲間の解散は天保の改革で行われた。(d)江戸城明け渡しに至る交渉で新政府側の代表を務めたのは④西郷隆盛。幕府側の代表を務めたのは①勝海舟。(f)I 西南戦争が勃発したのは1877年。II 華・士族への家禄・賞典禄の支給開始は1869年。III 廢刀令による士族の帯刀禁止は1876年。よって古い順にII→III→Iとなるので②が正解。